

1 学年進路通信 Vol.4

関東第一高等学校
 学校長 乙幡和弘
 監修 進路指導部
 7月4日(木)発行

第2回定期考査が終わりましたね。授業で学んだこと、家庭学習で復習したことを存分に発揮できたでしょうか。定期考査は終わりましたが、気を抜いている暇はなく、11日(木)には進研模試(特A)・実力診断テスト(G)スポンが控えています。高校における学習はまだ3カ月分しか学んでいませんので、中学校3年間で学んだことの定着度も合わせて測ります。模試の出来不出来によっては、中学校の既習範囲の復習に夏休みの時間を充てるのもいいでしょう。

○実力診断テストの範囲(英語はリスニングを選択、数学は自由選択、国語は選択問題なし)

記述式 実力診断テスト 1・2年生

※2023年12月末日現在のもので、今後変更する可能性がありますので、実施案内書でご確認ください。
 全国規模で学力を測るために毎年新作問題を出題します。ただし、英語スピーキング、基礎・活用は毎年同じ問題を使用します。

各教科の選択問題は、網掛け部分になります。

国語(50分)		100点			
大問	回	1年生 6月	1年生 10月	1年生 1月	2年生 各回共通
大問1		現代文・知識	現代文・知識	現代文・知識	現代文・知識
大問2		古文・知識	現代文・評論	現代文・評論	現代文・評論
大問3		現代文・評論	現代文・小説	現代文・小説	古文
大問4		現代文・小説	古文	古文	現代文・随筆
大問5			現代文・随筆	現代文・随筆	漢文
大問6					現代文・小説
備考			大問4・5から1題選択		

英語(50分)		100点			
大問	回	各回共通			
大問1		リスニング*			
大問2		会話表現			
大問3		文法・語い・語法			
大問4		読解			
大問5		表現力			
備考		大問1・2から1題選択			

※リスニングテストの所要時間は、約11分です。

数学(50分)		100点					
大問	回	1年生6月	1年生10月	1年生1月	2年生6月	2年生10月	2年生1月
大問1		中学校の範囲	中学校の範囲、数と式	数と式、2次関数*	数学Iの範囲*	数学Iの範囲	数学Iの範囲
大問2		中学校の範囲	中学校の範囲、数と式	数と式、2次関数*	数学Iの範囲*	数学Iの範囲	数学Iの範囲
大問3		中学校の範囲(関数のグラフ)	中学校の範囲(図形)	数と式	数と式	2次関数	2次関数
大問4		中学校の範囲(図形)	数と式	2次関数	2次関数	図形と計量	図形と計量
大問5		数と式	2次関数の最大・最小	図形と計量	場合の数と確率	場合の数と確率	図形の性質
大問6			2次関数のグラフと2次不等式	場合の数と確率	図形の性質	式と証明、複素数と方程式	三角関数
大問7			場合の数	図形の性質	式と証明、複素数と方程式	図形と方程式	微分法
大問8						数列	数列
備考		大問4・5から1題選択		大問3～7から2題選択		大問3～8から2題選択	

※中学校範囲の知識のみを活用する問題を含む場合もあります。

(ベネッセハイスクールオンラインより引用)

○進研模試の範囲(英語はリスニングを選択、国語は実用的文章を選択、数学は自由選択)

高1生7. 今回のテストのご紹介

ベネッセ総合学カテスト

今回のテストの指導上の位置づけ

今回のテストは、高校入学後3か月経過した時点での学力を測定します。学年・クラス・生徒の学力特性を明らかにし、9月以降の教科指導や文理選択指導の判断材料などにご活用いただけます。生徒には自分の学力を把握させ、中学生気分からの脱却を促します。夏休みの学習の動機づけにもご利用いただけます。

配点・試験時間

出題教科	配点	試験時間
国語	100点	60分
数学	100点	80分
英語	100点	60分

英語(リスニング)の出題形式/選択問題として出題(学校単位での選択)

- ①リスニング ②会話表現
- ①か②の選択問題です。配点は22点です。
- リスニングテストは英語の試験時間の最初に実施してください。所要時間は約11分です。
- リスニング・会話表現はいずれか一方の選択のため、両方に注意してください。
- 学校やクラス単位で選択をそろえる場合には、学校・クラスに周知いただくようお願いいたします。
- リスニング・会話表現を両方解いている場合は、得点の高い方で成績集計を行います。

出題範囲と出題方針

- 出題範囲は、履修形態や進捗状況についてのアンケート結果に基づいて決定しています。
- 試験の公平性の見地から、出題範囲の取り扱いには十分ご配慮ください。
- 出題範囲とは、各教科・科目とも出題の対象となる範囲のことをいいます。含まれるすべての分野・内容を出題するというものではありません。

出題教科	出題科目・範囲	出題方針
国語	[必答問題] ①現代文・論理的文章 ②現代文・文学的文章 ③古文 [選択問題] ④漢文 ⑤現代文・実用的文章)より1題選択	現代文・古典にかかわらず、読解力・記述力を問う出題をします。また、古文の文法においては、履修進度に合わせ、用言の活用までの範囲から出題します。
数学	[必答問題] ①～③数と式(集合と命題は除く)(I) [選択問題] ④2次関数(最大と最小まで)(I) ⑤場合の数(順列・組合せ)(A) ⑥図形の性質(空間図形は除く)(A)より1題選択	数と式を中心に問題を出題します。また、基本事項の確認から応用を必要とするレベルまで幅広い難易度で出題しますので、各学力層の到達度を測ることができます。
英語	[選択問題] ①リスニング*) ②会話表現)より1題選択 [必答問題] ③文法・語法 ④長文読解 ⑤長文読解 ⑥表現力	中学校3年間と高校入学後3か月間で学んだことが定着しているかどうかを確認します。文法・語法などの基本事項から長文読解や表現力といった応用力が必要なまで出題します。また、リスニングも選択問題として出題しますので、低学年から音声面・聴きとり能力についての評価が可能です。

*英語①リスニングの所要時間は、約11分を目安にしています。

●選択問題● 詳細は問題冊子をご参照ください。

教科	選択問題
国語	大問4, 5 ⇒ 1題を選択
数学	大問4, 5, 6 ⇒ 1題を選択
英語	大問1, 2 ⇒ 1題を選択

(ベネッセハイスクールオンラインより)

まずは目標設定!

志望校を設定すると、その学校に合格した先輩が「同じ回のテストで取った得点(合計点)」が表示される。その得点を「どの教科で、何点取るか」に振り分けてみよう。自分の目標として登録しておけば、学習を進めるための目安になる!

登録期間 5.22(水)～実施日前日まで

得点力をUPするテスト前学習!

テスト前も学力アップのチャンス。「差がつく勉強コンテンツ集」で基礎固めをテストに備えよう!

学習動画で集中的にニガテ対策

※ベネッセ総合学カテストの出題と同一の問題を含むコンテンツではありません。



○今回の模試の偏差値は大学受験においてどこまで参考になるの？

高校受験を終えてまだ半年も経っていないので、その当時の模試の成績や偏差値は何となく記憶にあったり、成績資料が残っていたりすると思います。高校受験時の偏差値が大学入試の偏差値にそのまま当てはまるかという、そのようなことはありません。高校受験時の模試の偏差値が60だからといって、青山学院大学文学部(河合塾偏差値60)に受かるわけではないということです。

一般的に**高校の偏差値－10前後＝大学の偏差値**といわれています。高校受験は勉強が苦手な生徒も含めてほとんどの中学生が受験することになります。そのため、平均点も下がり、偏差値50は取りやすい状況にあります。大学入試は同世代の60%前後が受験します。一般的に勉強が苦手な生徒は推薦入試や専門学校などの道を歩むので、一般入試にはそれなりに勉強ができる生徒が臨みます。また、高校受験時にライバルとして存在していなかった中学受験組、浪人生が大学入試に加わるので、高校受験生よりも母集団のレベルが上がるため平均点も高くなり、高校入試に比べれば偏差値50の水準も高くなるのです。日東駒専と呼ばれる大学群(日大・東洋・駒澤・専修)は一般的に「偏差値50前後」「平均的な立ち位置の大学」と捉えられがちですが、同世代全体で見ると上位25%～30%ほどの立ち位置となります。三者面談等でも親子から「最低でも日東駒専レベルには…」という話をされるがよくありますが、実はそれほどたやすく受かるような大学ではないことを把握しておいてください。

また、受験する模試によっても算出される偏差値は異なります。上記に高校受験生と大学受験生の母集団が違うとあるように、受験する模試によって母集団が異なるからです。本校では高2秋までベネッセ模試、高2冬からは河合塾模試を受験します(1・2年生の間もコースや希望により河合塾の模試を受験することはあります)。

ベネッセ模試は個人申込はできず、学校単位での申し込みとなります。そのため、浪人生は基本的に受験しません。浪人生が不在で、受験者数が多く受験者の学力範囲が広いため、河合塾模試よりも偏差値は高めに出ます。例えば、明治大学法学部のベネッセ模試の偏差値は67(合格可能性40～60%)、河合塾模試の偏差値は60(合格可能性40～60%)です。ベネッセ模試の偏差値60(合格可能性40～60%)の大学だと明治学院大学法律学科があります。同じ偏差値60でも模試ごとにデータを確認しないと、志望校の合格可能性も大きく異なるので、気を付けなくてはなりません。また、大学ごとの偏差値についても、

河合塾模試の偏差値60あれば明治大学法学部に受かる保証があるというわけではありません。平均偏差値60ある生徒が受験して合格する可能性は40%～60%、という数値です。こちらも数字の扱いを見誤ってしまうと、滑り止めの予定で受験した大学が滑り止めの扱いではない場合があるので気を付けましょう。



高校受験と大学受験の偏差値の違いのイメージ

高校受験	大学受験
	大学一般入試進学者
	偏差値50
偏差値50	大学推薦入試進学者
	非大学進学者 (就職、専門、その他)

○2024年度卒業生の合格体験記より(クラスルームに配信済の『明日へのガイドマップ2024』より抜粋)

合格体験記には皆さんに対してのメッセージもたくさんあります。悔いのない進路先を選択するために、よく目を通して、どういう勉強法を取り入れるのか、どの参考書を使うのか、参考にしましょう。

①オープンキャンパスへ行くことの重要性

- 第一志望校を筑波大学に変えるが、変えたときにはもうすでにオープンキャンパス予約が締め切られていた。(65p 参照、筑波大学進学)
- 自分はネットの評判や偏差値で 3年の10月くらいまでは法政大学を第一志望にしていたけれど明確に行きたい理由もなかったためイマイチ勉強をやる気も起こらなかった。その後大学について改めて調べてみてやばり学習院へ行きたいと思ってからは勉強へのモチベーションがかなり上がった。一番大事なのは大学群や偏差値では無くその大学へ行きたいと言う気持ちだなと思った。(89p 参照、学習院大学進学)

②学習習慣を早くにつけること

- もっと早く勉強を始めればよかった。(84p 参照、青山学院大学進学)
- 今から勉強しとけて言われても目標がないとなかなか実感が湧かなくて難しいと思うけど、やっぱり早めから始めた人は強いと思う。練習だと思って勉強時間を確保しておくだけでも違うと思う。(95p 参照、岩手大学進学)
- 1年生での勉強習慣がなかったので、受験勉強を始めるのが大変だった。もっと前からやっておけばよかったって絶対に後悔するので、今すぐに始めましょう!!!終わった後の解放感はずいので全力で頑張ってください!(100p 参照、明治学院大学進学)
- 登下校時のバスの中や休み時間など、暇さえあれば英単語・古文単語を覚えていました。日々の授業に真面目に取り組み、テスト期間2週間前から対策をしていました。1年生の段階である程度の知識を入れておくの後々楽になります。(105p 参照、専修大学進学)
- (反省点は)現代文を1年からしっかりできなかったことです。苦手科目はやりたくないと思ってたので他の教科で頑張りましたが、やはり 科目の試験に絶対必要なのでしっかり勉強した方が良いと思います。(116p 参照、中央大学進学)

③目標を持って学習を進めること

- 進学Gコースに在籍していたので、Aコースにコース変更することを目標として定期考査の勉強に力を入れていた。定期考査の勉強に力を入れたことにより、各科目の基礎が身についた。(97p 参照、東京学芸大学進学)
- Gコースという学力的には最下層からのスタートで、志望校も特になく、何から手を付けたいかわからなかったが、A選抜に上があれば上位の大学に合格できる可能性が上がると考えたので、コース昇格に必要な条件を満たしていこうという思いで勉強していこうと決めた結果、英語メインで勉強していきました。具体的な勉強の中身や成果を上げると、夏休み中にターゲットを一通り終わらせ、11月頃には即答できるレベル。文法は中学レベルの内容が分かる程度くらいまで成長しました。(122p 参照、中央大学進学)